

福祉サービス事業 フリーダム創生  
生活介護事業（シオンの家）2022年事業計画書

従業員数

管理者（兼務）1名 サービス管理責任者 1名

生活支援員 16名（内非常勤 4名）看護職員 1名（非常勤）医師 1名（東永内科）

利用者数（定員 25名）

実利用者 身体障害者 17名（内車いす 17名）知的障害者 8名 合計 25名

**【運営目標】**

利用者が自立して日常生活、及び社会生活を過ごすために、排泄及び食事の介助、生産活動及び創作活動の提供を行う。また、地域との関係を重視し、市町村、他の障害者事業所、相談支援事業所、医療機関、学校などの機関との連携を図ります。

障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準に定める内容のほか、その他関係法令等を遵守し、事業を実施するものとする（運営規定より）

1. 感染予防対策に務め、感染者急増中は自宅での自粛も要請し、事業所内においては安心安全な環境で過ごせるよう支援します。
2. 身体的虐待、ネグレクト、心理的虐待、性的虐待、経済的虐待が起こらないよう、研修等を実施し、職員の意識向上を図り、日常の業務に生かします。
3. 生産活動、販売等の活動を通して社会、地域と繋がるよう支援します。
4. 利用者、ご家族や相談支援員・他機関と連携し、サービスの向上に努めます。

**【サービス（支援）内容】**

消毒、手洗い、検温等、コロナウイルス感染予防を徹底して実施する。自宅での自粛者には毎日、体調や日常生活の様子等を伺う。サービス担当者会議で支援内容を協議し、個別支援計画を立案、その計画に沿った支援を職員、家族、他利用機関と連携しながら支援します。

主な内容として、身体介護（排泄、食事、移乗）、生産活動（内職、駄菓子ラッピング、紙ちぎり）、販売（パン、製菓商品、仕入れ商品、オリジナルカレンダー）、創作活動（絵画等）、生活相談（カウンセリングルームの設置）、健康管理（生活支援員によるリハビリ、週一回の訪問歯科、バイタル、月一回の医師の診察、看護師の様子観察）、その他必要となる介護、支援、助言を行います。サービス担当者会議を行い、一人一人の利用者に対しての個別支援計画を立て、その計画に沿った支援を職員、家族、他利用機関と連携を取りながら行います。

## 【支援の効果と課題】

1. 消毒、手洗い、検温等、体調不良時は通所を控える等の水際対策等、コロナウィルス感染予防を徹底して実施する。

**効果：**感染による生命の危機、それに伴う事業停止によるご家族の負担を軽減する。

**課題：**ご家族のウィルスに対する危機感の違いにより報告が遅れたりする可能性がある。折に触れて、感染症対策の文書を配布する等、危機意識を持続する対策を講じる必要がある。

2. 虐待に対する意識を高め、利用者の心身を守る。

**効果：**安心しながらサービスを利用していただき、信頼される人間関係の構築ができる。

**課題：**常に研修等で啓発を行い、意識の向上に努める必要がある。

3. 生産、販売、SNSによる情報発信等、様々な活動により社会と接する機会を作る。

**効果：**社会における一員としての自分という共生意識、生きがいや充実感が生まれる。

**課題：**コロナ禍では直接的に触れ合う機会が少ないため、ネットを利用する等の方法を工夫する必要がある。

4. ご家族や他機関と連携し、利用者の全方位的支援を行う。

**効果：**連携により、利用者に対する多角的な視点からの情報を得られ、日々の支援に生かすことができる。

**課題：**常に意識的にアンテナを張っていないと貴重な情報を取りこぼしたりするため、たゆまない職員の自己研磨が必要である。